

## 海外の学会参加

- 1987年07月 学生セミナーで University of California Davis, Washington State University  
1990年07月 University of California Davis, Washington State University を訪問研修  
1991年05月 Texas A&M University, 心臓病専門医 Dr.Matthew Miller に師事  
1996年05月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Texas州 SanAntonio 参加  
2000年05月 Texas A&M University 外科、心臓病科短期個人研修  
2000年05月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Washington州 Seattle 参加  
2001年05月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Colorado州 Denver 参加  
2002年05月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Texas州 Dallas 参加  
2002年09月 アメリカ獣医癌学会 New York州 New York  
2003年10月 世界小動物獣医師大会 タイ・バンコク  
2004年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Minnesota州 Minneapolis  
2005年05月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Maryland州 Baltimore  
2006年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Kentucky州 Louisville  
2007年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Washington州 Seattle  
2008年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Texas州 San Antonio  
2009年07月 アメリカ獣医師会年次大会 Washington州 Seattle  
2011年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Colorado州 Denver  
2012年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Louisiana州 New Orleans  
2013年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Washington州 Seattle  
2014年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Tennessee州 Nashville  
2015年03月 国際ねこ医学会 Asia Pacific congress 香港  
2015年11月 アメリカ猫医学会 California州 San Diego  
2015年11月 アジア小動物獣医師会 台湾 内分泌学 講演  
2016年06月 アメリカ獣医内科専門医フォーラム Colorado州 Denver  
2016年11月 アメリカ猫医学会 Washington DC

## 通訳

- 1990年10月 麻酔学 Dr.Stephen A. Greene - Washington State University  
2001年03月 内分泌病学 Dr.Mark E. Peterson - The Animal Medical Center, New York  
2001年07月 腫瘍学 Dr.Philip J. Bergman - The Animal Medical Center, New York  
2001年11月 猫科学 Dr.Margie Scherk - Cats Only Clinic, Canada  
2002年01月 腫瘍病理学 Dr.Amiya Patnaik - The Animal Medical Center, New York  
2002年02月 皮膚病学 Dr.Daniel O. Morris - University of Pennsylvania  
2002年03月 腫瘍学 Dr.Philip J. Bergman - The Animal Medical Center, New York

2002年07月 内分泌病学 Dr.Mark E. Peterson - The Animal Medical Center, New York  
2002年11月 軟部外科学 Dr.Thereasa W. Fossum - Texas A&M University  
2003年02月 泌尿器外科 Dr.Clare R. Gregory - University of California, Davis  
2003年07月 寄生虫 Dr.Glenn R. Frank - Heska Corporation  
2003年08月 消化器病学 Dr.Robert J. Washabau - University of Pennsylvania  
2003年09月 心臓病学 Dr.Mark D. Kittleson - University of California, Davis  
2005年11月 猫医学 Dr. Margie Scherk – Cats Only Clinic, Canada  
臨床病理学 Dr. Jim Bilenduke – Central Laboratory, Canada

## 翻訳

2001年03月 内分泌病学ハンドアウト共訳  
Dr.Mark E. Peterson - The Animal Medical Center, New York  
2001年07月 腫瘍学ハンドアウト共訳  
Dr.Philip J. Bergman - The Animal Medical Center, New York  
2001年11月 猫科学ハンドアウト共訳  
Dr.Margie Scherk - Cats Only Clinic, Canada  
2002年02月 皮膚病学ハンドアウト共訳  
Dr.Daniel O. Morris - University of Pennsylvania  
2002年03月 腫瘍学ハンドアウト共訳  
Dr.Philip J. Bergman - The Animal Medical Center, New York  
2002年 小動物の老齢病学 ファームプレス刊 共訳  
2002年07月 内分泌病学ハンドアウト共訳  
Dr.Mark E. Peterson - The Animal Medical Center, New York  
2002年11月 軟部外科学ハンドアウト共訳  
Dr.Thereasa W. Fossum - Texas A&M University  
2003年02月 泌尿器外科ハンドアウト共訳  
Dr.Clare R. Gregory - University of California, Davis  
2003年07月 寄生虫病学ハンドアウト翻訳  
Dr.Glenn R. Frank - Heska Corporation  
2003年08月 消化器病学ハンドアウト共訳  
Dr.Robert J. Washabau - University of Pennsylvania  
2003年09月 心臓病学ハンドアウト共訳  
Dr.Mark D. Kittleson - University of California, Davis  
2005年11月 猫医学ハンドアウト共訳  
Dr.Margie Scherk and Dr.Jim Bilenduke – Cats Only Clinic, Canada

Veterinary Clinics Small Animal Practice

2010年 小動物の内視鏡 共訳

2011年6月 小動物の救急疾患 共訳

著述

NJK

- 2001年9月 臨床獣医師向け雑誌 NJK 連載開始
- 2001年09月 創刊号 股関節脱臼
- 2001年10月 キャバリアの血小板減少症
- 2001年11月 老齢病プロローグ
- 2001年12月 糖尿病オプション(1)
- 2002年01月 糖尿病オプション(2)
- 2002年02月 猫甲状腺機能亢進症のオプション(1)
- 2002年03月 猫甲状腺機能亢進症のオプション(2)
- 2002年04月 犬のクッシング症候群のオプション(1)
- 2002年05月 犬のクッシング症候群のオプション(2)
- 2002年06月 犬のクッシング症候群のオプション(3)
- 2002年07月 耳道炎の診断と内科治療(1)
- 2002年08月 耳道炎の診断と内科治療(2)
- 2002年09月 その他の感覚器疾患－白内障
- 2002年10月 その他の感覚器疾患－鼻腔疾患
- 2002年11月 消化器疾患－はじめに(1)
- 2002年12月 消化器疾患－はじめに(2)
- 2003年01月 忘れがちな食道疾患(1)
- 2003年02月 忘れがちな食道疾患(2)
- 2003年03月 胃の疾患(1)
- 2003年04月 胃の疾患(2)
- 2003年05月 胃の疾患(3)
- 2003年06月 犬の腸疾患(1)
- 2003年07月 犬の腸疾患(2)
- 2003年08月 猫の消化器疾患(1)
- 2003年09月 猫の消化器疾患(2)
- 2003年10月 雄の生殖器疾患(1)
- 2003年11月 雄の生殖器疾患(2)

2003年12月 雌の生殖器疾患(1)  
2004年01月 雌の生殖器疾患(2)  
2004年02月 老齢病アップデート(1)  
2004年03月 老齢病アップデート(2)  
2004年04月 犬猫臨床 1. 乳酸  
2004年07月 犬猫臨床 2. フルオロキノロン  
2004年09月 犬猫臨床 3. 猫の糖尿病と Glargine  
2004年10月 犬猫臨床 4. 猫の糖尿病と Glargine(続き)  
2004年11月 犬猫臨床 5. 糖尿病のモニタリング  
2005年01月 犬猫臨床 6. Glargine 用注射器、低血糖とハチミツ  
2005年03月 犬猫臨床 7. 副腎皮質機能亢進症とトリロスタン  
2005年05月 犬猫臨床 8. 非ステロイド系抗炎症剤  
2005年07月 犬猫臨床 9. 犬の甲状腺機能低下症(1)  
2005年09月 犬猫臨床 10. 犬の甲状腺機能低下症(2)  
2005年11月 犬猫臨床 11. 犬の副腎皮質機能低下症(1)  
2006年01月 犬猫臨床 12. 犬の副腎皮質機能低下症(2)  
2007年06月 パルボ、タミフル、時々ヒッポカラー  
2008年09月 コンベニア注を使う？ 使わない？  
2009年06月 副腎皮質ステロイド剤  
2009年12月 ジアセチルスペルミン：スクリーニング検査における新しい腫瘍マーカー  
2010年05月 パルボにタミフル、IBD、アレ検に除去食試験  
2016年04月 知っておきたい検査法(1) 「PCR? 知らん!!」  
2016年05月 犬の副腎皮質機能亢進症アップデート  
2016年06月 知っておきたい検査法(2) 「クローナリティ어의真実!!」  
2016年07月 犬の胆嚢粘液嚢腫と内分泌のアップデート  
2016年08月 知っておきたい検査法(3) 「実際に結果を読もう！」  
2016年09月 猫の糖尿病、診断管理が簡単ってホントですか？ Part.1  
2016年10月 知っておきたい検査法(4) 「オクラシチニブの作用機序」  
2016年11月 猫の糖尿病、診断管理が簡単ってホントですか？ Part.2  
2016年12月 知っておきたい検査法(5) 「フローサイト？」  
2017年01月 アメリカ猫医学会 学会報告

## Clinic Note

2012年6月 2012年のノミ・マダニ駆除

SAMedicine Interzoo

2010年66号 ウイルス性腸炎

CAP(Companion Animal Practice) チクサン出版

2007年09月 小動物軟部外科手術に対する Vessel Sealing System (LigaSure TM) の使用

2015年08月 猫にやさしい保定・注射・採血法

InfoVets アニマルメディア社

2007年06月 パルボウイルス感染症に対するリン酸オセルタミビルの効果

2009年11月 腹腔内停留睾丸に発生した巨大セルトリ細胞腫と高プロジェステロン血症の一例

Avant メリアル社

2010年08月 猫のウェルネス・プログラム

Interzoo

犬と猫の治療ガイド2012 私はこうしている Interzoo

犬と猫のウイルス性腸炎の項

2012年9月刊

J-Vets

2016年7月 新規の腎マーカーSDMA

Felis

2015年06月 猫の糖尿病治療における食事管理のポイントとは

2015年07月 猫の糖尿病の実践的治療に関する

「ISFM コンセンサスガイドライン」をどう読むべきか

2015年12月 猫の慢性腎臓病（CKD）治療のこれから

—新たに加わったARBの役割とは

2016年04月号 AAFP Annual Conference 2015 学会報告

2017年04月号 AAFP Annual Conference 2016 学会報告